



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association
<https://ncjta.org/>

会長挨拶 伊藤潤子

会長挨拶



Contents

- 会長挨拶／秋の例会のお知らせ: P.1-2
- NCJTA 令和4年度 外務大臣賞 表彰にあたって: P.3-4
- NCJTA 会計から: P.4
- 秋の役員会議事録: P.4
- 春の例会報告: P.4-5
- FLANC秋季学会のお知らせ: P.5
- 日本語能力試験について: P.6
- JETプログラム説明会のお知らせ: P.6
- Japan Foundation LAからのお知らせ: P.6-7
- Sac State's 15th Annual Japan Day の報告: P.7-8
- Karaoke: Celebration of Japanese Language and Cultureの報告: P.8
- 北カリフォルニアのイベント情報: P.9
- 先生の紹介: P.9-10
- 私の学校でこんなことが!: P.10-11
- 役員の連絡先: P.12

皆様、お元気でいらっしゃいますか。対面授業、オンライン授業、ハイブリッド授業と授業の形態も多様化し、学生のニーズも増え、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。くれぐれもご自愛下さいませ。

まず、皆様に変な嬉しいお知らせがあります。去る8月4日に当会が令和4度の外務大臣表彰 (https://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/22_0804.html) を受賞いたしました。当会は今年で設立50周年となります。北カリフォルニアの日本語教育へのこれまでの貢献が認められ、身の引き締まるような思いです。今まで当会をサポートして下さった会員の皆様のお陰です。また推薦して下さった総領事館の方々へも深く感謝申し上げます。小さい教師会ではありますが、当会は北カリフォルニア外国語協会、全米日本語教育学会のアフィリエイトであり、また昨年からは国際交流基金のJFネットワークにも加入させていただき、地域や国境を越えて世界中の日本語教育機関とも繋がりが持てるようになりました。時代のニーズに応えながら、例会、勉強会、ニュースレター、グループメールを通して、皆様に様々な情報をお伝えしていきたいと思っております。今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。

それから、春の例会でご承認いただきましたが、役員交代のお知らせがあります。今年度より、書記はシャスタカレッジのジーマン美子先生に、高校代表はケリーウォルシュ高校のスロツビー薫先生に、学園・小中学校代表はローザパークス小学校の井上由佳先生にお願いすることになりました。二年間どうぞ宜しくお願い致します。そして、長い間役員としてご活躍いただいた熊倉昭彦先生、加藤貴子先生、マケール尚子先生、本当にお疲れ様でした。

さて、今年の秋の例会は「学習者のモチベーション、主体性を育む自己調整学習の試み」と題して、サクラメント州立大学の増山和恵先生と、マイアミパルメット高校と州立フロリダ国際大学で教えていらっしゃるアベロ美恵子先生に発表していただく予定です。ご存知の方も多いと思いますが、増山先生とアベロ先生は毎年 ACTFL 年次大会でクリエイティブな発表をなさっていて、お二人の発表を毎年楽しみにしていらっしゃる先生もたくさんいらっしゃいます。秋の例会で皆様にお目にかかれるのを、役員一同楽しみにしております。

北加日本語教師会 秋の例会のお知らせ

今年度の秋の例会は 10月 8日（土曜日）にオンラインにて開催されます。会員の方は、事前登録の上、無料でご参加いただけます。非会員の方は、当会のウェブサイト (<https://ncjta.org>) にて、まず会員になっていただく必要があります。例会の事前登録は以下のサイトで行えます。参加者の方々には、10月 6日（木曜日）にZoom リンクをメールでお送りします。

レジストレーション: <https://forms.gle/1F4fLdAJyh9u5itR7>

テーマ: 「学習者のモチベーション、主体性を育む自己調整学習の試み」

講師:
アベロ美恵子先生 (Miami Palmetto Senior High School, Florida International University)
増山和恵先生 (California State University, Sacramento)

日時: 10/8 (土) 1 pm - 4 pm (via Zoom)

発表要旨：

技術革新、グローバル化、パンデミック禍など激動の時代では、学習の意味、学習環境のありかたの再考、そして、生涯に渡って自律的に学ぶ力の養成がますます重要になってきています。そんな「自ら学ぶ力」を助けるのが「自己調整学習」です。自己調整学習とは自分で学習目標を設定させ、その目標に向かっての学習環境を整え、フィードバック・ループをつくり出し、お互いに助け合いながら、学習プロセスを振り返り、自己調整することです。日本語の学習を通して学習者の主体性を育てながら自己調整について話し合うことで、学習者のモチベーション向上にも繋がります。今回のワークショップでは、まず、自己調整学習の仕組みについて学び、高校、大学の日本語の授業での実践例を紹介します。後半は、参加者の先生方にグループになっていただき、どのように自己調整学習を授業にとりいれていくかを話し合っただき、最後にそれが共有できたらと考えています。

スケジュール：

1:00 pm - 1:10 pm 会員の方へのお知らせ

1:10 pm - 2:20 pm セッション 1

- 2021 ACTFL で発表したものを共有予定
 - 自己調整学習とは何か
 - 高校での実施例：学習者の目標設定、学習環境の整備、保護者との連携、学習者間のコミュニティの構築
 - Self-Regulated Learning Assignments and Activities の一般例の紹介
 - 大学での実施例：宿題、試験の自己、他者、コミュニティでの内省、調整、実行の繰り返し

2:20 pm - 2:30 pm Q & A

2:30 pm - 2:40 pm 休憩

2:40 pm – 3:30 pm セッション 2

- グループによる自己調整学習の導入、実践についての話し合い

3:30 pm - 3:55 pm

- グループ別自己調整学習の共有と話し合い

3:55 pm - 4:00 pm 終わりの挨拶

会員の皆様へのメッセージ：

アベロ美恵子先生より

Amazon の創始者ジェフ・ベソスを輩出したマイアミパルメット高校と州立フロリダ国際大学で教鞭を取っています。増山先生と共に 2007 年から AP Reading、2008 年から 4 年間 AP Development Committee にも参加しました。2020 年からカレッジボードの AP コンサルタントを務めています。「和」の精神をモットーに 5 年、10 年先の生徒を見越しながら心に突き刺さる授業を目指して日々励んでいます。趣味は絵画、鍋奉行、美容研究、都市伝説研究です。北カリフォルニアは私の憧れの地。そこに住んでいらっしゃる皆さんが羨ましい限りです。10 月のワークショップは一緒に楽しく盛り上がりながら、ガッチリ成果を上げましょう！

増山和恵先生より

30 年ほど前（1990）オレゴン大学で Teaching Assistant として日本語を教え始めたのをきっかけに日本語教育に従事。まだまだ毎日の授業をどのように運営していくか試行錯誤の日々が続いています。90 年代は日本語教育の発展史、ここ 20 年ほどはテクノロジー、文学を導入した授業運営、戦時中日記の翻訳、アセスメント研究への興味、AP 試験、SAT 試験、AATJ's National Japanese Exam などの試験作りに参加。現在、日本語 AP の Chief Reader をしています。また、アベロ先生とおもしろ日本語カリキュラムの創造に取り組み、ACTFL で発表してきました。過去の発表をまとめたサイトです（<https://sites.google.com/view/kazuemieko/home>）。趣味はかなり昔は絵画、書道、ラケット競技。コロナ前は旅行、ホットヨガに夢中でしたが、現在は散歩、山登り、そして、Youtube のねこ動画（もちまる、R8 家パパママ柴犬と猫ちゃんズ）のファンです。



NCJTA 令和4年度 外務大臣賞表彰にあたって
サンフランシスコ州立大学
南 雅彦

北加日本語教師会（NCJTA）が令和4年度外務大臣賞表彰を団体として受賞するという慶事に際し、非課税・非営利団体 NCJTA Inc.設立時のCEOとして皆様にお礼を申し上げます。

NCJTAは発足以来、サンフランシスコ州立大学（SFSU）と一貫して密接な関係を保ってきました。1960年代に故三島登志子先生がSFSUに赴任され、学内・学外で先進的な試みを実行されています。学外では日本語教師の教育技術向上のために、NCJTAを設立され、同時に、学内では、三島先生のリーダーシップの下、日本語プログラムが堅実な成長を遂げ1980年5月には最初の日本語学士号を授与するまでに成長しています。さらに1980年代後半には日本語修士課程の創設とともに三島先生は“Practical Linguistics of Japanese”と冠した大学院セミナーの担当となっています。1990年5月に最初の日本語修士号が授与されましたが、こうした動きは北カリフォルニア地域での日本語教師の需要に応えたもので、NCJTAの初期のメンバーの多くはSFSU日本語修士課程の卒業生です。過去のNCJTA会長、たとえば、グラント文子先生（2011-2013年）と高松信子先生（2013-2016年）は、いずれも三島教授から薫陶を受けています。このように、NCJTAとSFSUの日本語プログラムは、少なくともその草創期においてはどちらか一方を欠いても機能しないほど緊密な関係にあり、三島先生の貢献は車の両輪のような先進性であったと言えるでしょう。

先進性と申しまして、時計の針を元には戻せないように、新しく見えたことはいずれ古くなり、時代の要請に沿った改革と刷新が必要です。21世紀の幕開けには、NCJTAにもさらなる展開が必要な時期が訪れていました。NCJTA会長のモールス厚子先生（2001～2003年）と榊原晴子先生（2003～2005年）は、NCJTAを非課税の非営利団体として再生させることを計画し、私、南にその計画を託されました。

私は1997年秋学期にSFSUに赴任しましたが、それまではマサチューセッツ大学の心理学部で、言語獲得・言語習得を中心とする人間発達、心理言語学、社会心理言語学、統計を用いた調査研究手法などを指導しており、SFSUに赴任してからも大学院生の翻訳・通訳講義、社会言語学講義、修士論文指導などをしていました。ですから、どちらかと言えば、日本語教育には直接の関わりを持たない研究者で、1998年春に開催されたNCJTA主催の中高生弁論大会に審査員としてお招きいただいた以外は目立った活動をしていませんでした。そんな私を見込まれたのは、私なら大学院生を中心に日本語教師予備軍をNCJTAに連れてくることを見込めると判断されたからだそうです。

私のNCJTA会長としての活動は6年間という異例の在任期間（2005～2011年）となりましたが、非課税・非営利団体としての立場を確固としたものにし、さらにそこから上積みを目指す地盤作りの期間であったとご理解いただければ幸いです。三島先生は北カリフォルニアのみならず世界各地で活躍する日本語教師の育成に多大な貢献をされています。その三島先生の功績を記念してSFSUで1998年に設立された「実用言語学国際会議」（International Conference on Practical Linguistics of Japanese：略称 ICPLJ）とNCJTAの連携強化にも務めました。

また、私は当時American Association of Teachers of Japanese（AATJ）の執行役員・理事でもあったため、当時のAATJ会長でUC San Diegoの當作靖彦先生と協力し、2012年にNCJTAを系列団体としてAATJ加盟を推進しました。AATJ自体も、その前身であるAssociation of Teachers of Japanese（ATJ）と日本語教師の全国組織National Council of Japanese Language Teachers（NCJLT）の統合を国際交流基金主導で推進している渦中でしたが、全米の日本語教師組織への加盟は私の理想と合致していました。NCJTAは北カリフォルニア外国語教師会（Foreign Language Association of Northern California：略称FLANC）に系列団体としてすでに加盟していたので、NCJTAは、他言語を含む地域の教員団体だけでなく、日本語という特定の言語の全国的な教員組織にも加盟することになり、私が青写真として思い描いていた「再生と改革」が一応の完成を見たのです。

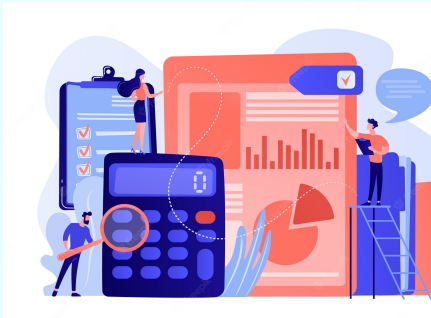
私のNCJTA会長在任の最終年は、外国語親組織のFLANCの会長としての初年度と重複しています。FLANCでは多言語の中での日本語の存在感の向上に取り組み、2014年までの任期を務めました。この時期、2012年から2016年の4年間は東京、立川の国立国語研究所からの招聘で客員教授も務めています。当時、国語研はドイツの出版社De Gruyter Moutonとの共同プロジェクトHandbook of Japanese Linguisticsシリーズを企画しており、私が応用言語学部門担当として招かれる荣誉に浴しました。この招聘期間にICPLJを国語研で開催するなど、国語研との連携強化を通してICPLJの北カリフォルニアから日本への進出を模索しました。

私は日系人組織の北加日米会の役員も務めていましたので、在サンフランシスコ総領事館の協力を得て、2016年10月23日開催の「第43回日本語弁論大会」、2017年3月5日開催の「第45回小学生お話大会」からはNCJTAも共同開催として名を連ねることを主催者の北加日米会に提案し承認されました。先に述べましたが、私が初めて参加したNCJTA開催行事が1998年春のNCJTA主催の中高生弁論大会で、その弁論大会が北加日米会主催の弁論大会の午前の部に吸収されていたことが私のこうした行動の背景となっています。

NCJTAの歴史を私の関わりを中心に、私からの視点で手短に振り返りましたが、もし私がしてきたことが少しでも受賞のお役に立てたのであれば、望外の喜びです。しかし、令和4年度外務大臣賞表彰受賞は、会員皆様の弛まぬご協力の賜物です。City College of San Francisco（CCSF）で長年教鞭をとっていらしたグラント先生は、1990年代前半にNCJTA会長を務められ、前述の通り、CCSFを退職される直前に再びNCJTAの会長（2011～2013年）に就任されています。高松先生（2013-2016年）は、SFSUや他の組織で教鞭を執る傍ら、SFSU退職前には、サンフランシスコ日本町で1911年創立という最も古い継承日本語学校である金門学園の校長を務めていらっしゃいました。サンフランシスコ大学教授の永田憲子先生は、高松会長の後任として、NCJTA会長を務められました（2016-2021年）。NCJTAは紆余曲折を経ながらも組織としての連続性を維持しています。会長が交代したからといって「一から出直し」などという非連続体ではありません。

組織改革に最終点はありません。綻びがあれば、その綻びを修正して前進しなければなりません。NCJTAは現在、伊藤潤子先生や斉藤百恵先生など、親組織となった全米日本語教師協会（AATJ）が国際交流基金の後援で主催するリーダーシップ・プログラムを受講した新しい世代の先生によって運営されています。私自身もかつてリーダーシップ・プログラムに参加しましたが、私の同期には現AATJ会長であるペンシルバニア大学の高見智子先生もいらっしゃいます。こうした新しい世代の先生は、第二言語・外国語として日本語を教えることの重要性を十分に理解していらっしゃるの、強いリーダーシップと同時に他機関との協調性を維持し、今後も時代にあった改革を遂げながらNCJTAが発展していくことができるよう導いていかれると確信しています。私もアドバイスなどを求められたら協力し、側面からサポートさせていただきますので、NCJTAを今後ともよろしくお願いいたします。

NCJTA会計から



NCJTA 会計から

NCJTAの年会費は、一般16ドル、学生6ドルです。2022年度の会費（2022年1月1日から12月31日まで有効）を未納の方、もしくは新会員の方はオンライン（<https://ncjta.org/membership.html#howto>）で申し込みの上、PayPal (ncjtap@gmail.com)かクレジットカードで納入をお願いします。なお、AATJとNCJTAのDual Membershipになられた方も、以上のオンラインで申し込みの上、AATJ会費納入のレシートを会計担当 (ncjta21@gmail.com)に転送をお願いします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。また、お支払いに関してご質問のある方は会計担当へご連絡ください。

（文責：矢幡・望月）

秋の役員会議事録



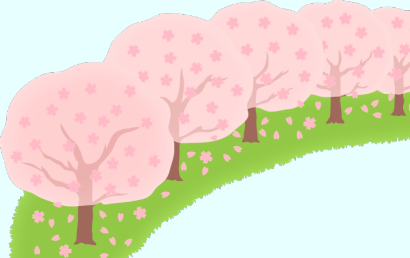
秋の役員会議事録

日時：2022年8月21日（日曜日）10:00 am -11:07 am Zoomにて
出席者：伊藤、斉藤、望月、矢幡、今川、森山、南、井上、スロツビー、永田、ジーマーマン（記）

- 1. 令和4年度外務大臣表彰について
北加日本語教師会が令和4年外務大臣賞を受賞した。
(https://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/22_0804.html)
- 2. 新しい年度のメーリングリストの作成時期について
来年の1月に会計が会員登録更新お願いのメールを送り、2月に副会長が新しい年度のメーリングリストを作成することにする。
- 3. 2024年の春開催（予定）の日本語実用言語学国際会議（ICPLJ）について
オンラインで開催されるなら、北加日本語教師会も開催に協力することに決定。
- 4. ウェブサイトの会員登録通知システムについて
- 5. 今年の秋の勉強会について
トピックは「教師の断捨離：燃え尽き症候群にならないための時短、効率化」にする。11月6日（日曜日）10時～11時に開催。今回は小・中・高校レベルと大学レベルを一緒に行う。

（文責：ジーマーマン）

北加日本語教師会
春の例会報告



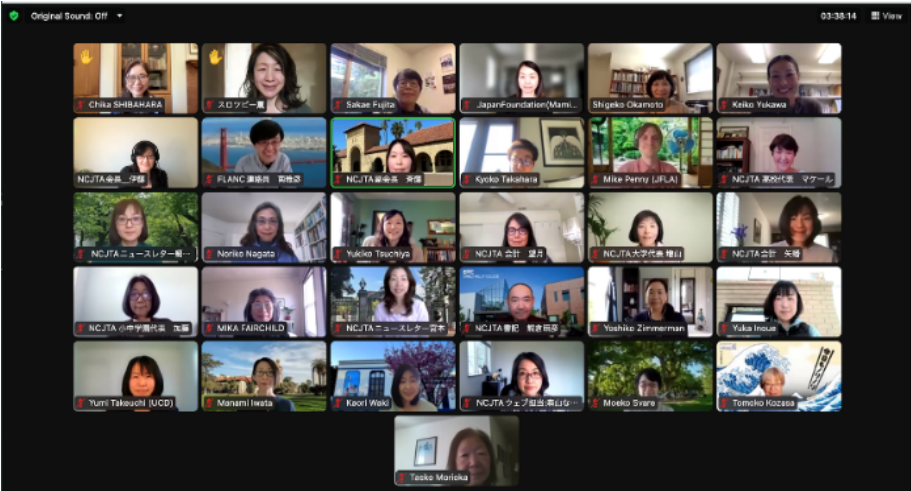
北加日本語教師会 春の例会

今年4月16日の土曜日に北加日本語教師会秋の例会がZoom上で行われました。

カリフォルニア大学バークレー校の柴原千佳先生は「共感が生まれる授業に向けて」というテーマで発表なさいました。今まで論争が予想されるため避けられていたトピックについて違う考えを持つ学生たちが互いを尊重しつつ一緒に考えていくことで、今まで考えもしなかったことに気がつき、共感が生まれる授業がうまれていく例の紹介をしていただきました。ブレイクアウトルームでは参加者の先生方が柴原先生の発表の中で取り上げられた絵本をどのように教室活動として取り入れられるかの話し合いがなされました。

カリフォルニア大学サンタクルーズ校の岡本成子先生、藤田栄先生、湯川景子先生は「多様性を意識した日本語教育の一例」のタイトルで発表なさいました。ステレオタイプの多いこれまでの教科書とは異なる、多様性をテーマとし上級学習者向けに作られた日本語教科書を通して、批判的思考を身につける授業の紹介をしていただきました。ブレイクアウトルームでは、多様性を意識した活動について、参加者の先生方のこれまでの経験やこれからの予定についてディスカッションがおこなわれました。

(文責：熊倉)



お知らせ

FLANC秋季学会のお知らせ

FLANC秋季学会の
お知らせ



- *Foreign Language Association of Northern California* (FLANC) は、10月22日(土)に、秋季学会を過去2年同様、Zoomを使用してオンライン開催します。
午前、午後ともに2セッションの発表、そして基調講演を予定しています。NCJTA会員の皆様にぜひともご出席いただきたいのは、午後2時からの Presentation 4A です。

なお、FLANCは本年が創立70周年となっており、9月22日までに学会登録をすませただけだと、FLANC年会費も込みで\$6という超特別価格となっています。ぜひこの機会をお見逃しなく、ご登録ください(通常なら、年会費のみでも\$35です)。

<https://www.flanc.net/2022-registration-membership-rev>

- 基調講演：午前11時から、ヴァンダービルト大学(Vanderbilt University)のステイシー・ジョンソン(Stacey Johnson)氏が「The Socially Just, Globally Engaged Language Classroom: Core Principles and Practices」と題して基調講演を行います。

- 日本語発表：午後2時からの Presentation 4A に注目です！
NCJTA会員の先生方は、安座間喜治先生(サリナス学区 教育指導主任)、木内厚子先生(エルクグローブ高校)、西村美緒先生(アリサル高校)、ミシェル・ルピサン先生(サリナス高校)による新しい教科書『コンパス日本語 中級』をご存知でしょうか。<https://www.9640.jp/nihongo/ja/detail/?902>

Presentation 4Aでは、“What does your Japanese-language learning journey look like?: An introduction to the Compass Interactive Workbook”と題して安座間先生を中心に『コンパス日本語 中級』についての発表があります。

『コンパス日本語 中級』にご興味をお持ちの先生はぜひご出席ください。なお、『コンパス日本語 中級(Compass Japanese [Intermediate] Interactive Workbook)』はJPT Americaからご購入いただけます。<https://jlc.jptamerica.com/Compass-Japanese-Interactive-Workbook?search=COMPASS%20JAPANESE&description=true>

(南 雅彦)

- *Foreign Language Association of Northern California (FLANC) Fall Conference 2022*
 - ◇ 日時：10月22日(土)
 - ◇ 場所：オンライン
 - ◇ 学会テーマ：Global Justice in the World Language Classroom (How does this work in your classroom?)
 - ◇ 基調講演者：Stacey Johnson, Center for Teaching, Vanderbilt University
 - ◇ 日本語発表：Yo Azama, Atsuko Kiuchi-Fagerness, Mio Nishimura, Michelle Lupisan
 - ◇ 参加申し込み <https://www.flanc.net/2022-registration-membership-rev>

日本語能力試験の
お知らせ



JETプログラム説
明会のお知らせ



Japan Foundation
Los Angelesからの
お知らせ

日本語能力試験（Japanese Language Proficiency Test）の
お知らせ

習得した日本語能力を客観的に測定し、これを公的に認定する制度である『日本語能力試験』は、サンフランシスコ州立大学で12月4日（日）に実施されます。コロナ禍のため中断していましたが、3年ぶり開催となりました。これまで、試験監督としてご協力いただいた経験豊富な日本語の先生の皆様にはたいへんお世話になってまいりました。

本年は全米17会場となりました。サンフランシスコ会場の受験者定員は550名で全米2番目の規模です。また、特別措置を必要とする受験者も例年数名おります。このように大規模になりますと、NCJTA会員の先生には試験監督をお願いしなければなりません。何卒、試験監督としてご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（サンフランシスコ州立大学 南 雅彦）

総領事館インフォメーションセンターからのお知らせ
JETプログラムの説明会

在サンフランシスコ日本国総領事館は、以下の日時にJETプログラムの説明会を実施します。沢山の学生の皆様のご参加をお待ちしております。

- 各大学での説明会
Tuesday, September 20th (11:30am-1:30pm) University of San Francisco Career Fair
Thursday, September 22nd (12:00pm-2:00pm) University of the Pacific Information Session
Tuesday, September 27th (10:00am-2:00pm) Sacramento State University Career Fair
Friday, September 30th (12:15pm-1:00pm) CSU Fresno Information Session
Wednesday, October 5th (12:00pm-2:30pm) St. Mary’s College Career Fair
Wednesday, October 12th (10:00am-2:00pm) University of California, Davis Career Fair

- 当館主催のオンライン説明会
Wednesday, September 28th (12:00pm-1:00pm)
Thursday, October 6th (5:30pm-6:30pm)
Tuesday October 11th (12:00pm-1:00pm)
Monday, October 17th (5:30pm-6:30pm)
Thursday, October 27th (12:00pm-1:00pm)

説明会の詳細や登録に関しては、以下のリンクをご確認ください（今後、説明会の追加ごとに、随時更新予定）。

- （説明会） https://www.sf.us.emb-japan.nextweb/itpr_en/jet_info_sessions.html
（JETプログラム概要） https://www.sf.us.emb-japan.nextweb/itpr_en/JET.html

また、この度は北加日本語教師会の外務大臣表彰受賞、おめでとうございます。JETプログラムをはじめ、教師会の先生方には、様々な場面で大変お世話になっております。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（在サンフランシスコ日本国総領事館 石井 由実子）

Fall News from JFLA!

By Mike Penny (Japan Foundation, Los Angeles)
mike_penny@jflalc.org

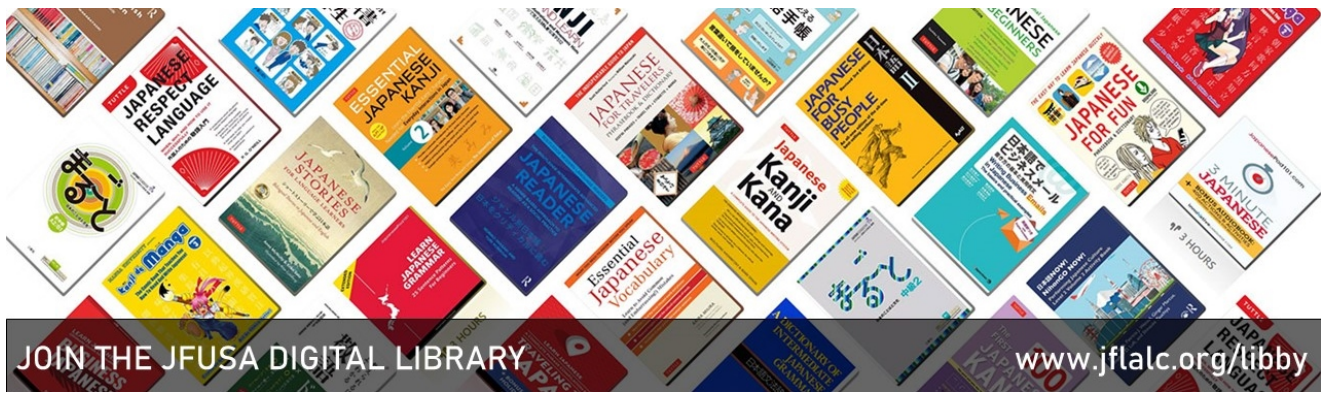
Hello, NCJTA members! My name is Mike Penny, Japanese-Language Advocacy Specialist here at JFLA, and I am excited to share our latest news with you all.
Firstly, I would like to announce and invite everyone to join the brand-new JF USA Digital Library which we launched earlier this year in coordination with our New York and Toronto offices. To apply for library membership, simply complete the form via this [link](#) and begin checking out digital books and media on your phone or computer FOR FREE!
Speaking of “FREE”, we still have plenty of new badges, pens, and magnets designed after Japan Foundation’s [Minato free e-learning platform and community](#), so [order](#) while supplies last!

As far as programming goes, JFLA will also continue to provide its popular *Wellness Wednesdays* virtual sessions of Bilingual Yoga, Meditation with Japanese Singing Bowl, and Karate sessions every Wednesday at lunchtime live on JFLA’s Facebook page (www.facebook.com/jflalc)

Also, our *Engines of Progress: Images of Railroad Culture in Modern Japan* exhibition is currently open to the public from now through Halloween! Celebrating the 150th anniversary of the first rail line in Japan, this exhibition focuses on railroad culture as captured in mass-produced woodblock prints and related objects. Check our website for hours, and stop by our center for a transportive experience!

Lastly, we would also like to share that our new [Marugoto \(A2B1-1\) Japanese Online Self-Study Course](#) is now available via the Japan Foundation Headquarters' [website](#). The course is completely free and lasts six months from the start of the course.

We are always cooking up new programming and events, so be sure to sign up for our *Your Japan* e-newsletter for all the latest JFLA updates including grant opportunities, events, and other useful information. Have a great fall and please feel free to reach out to us should you have any questions!



Celebrating Japanese Language and Culture at Sac State’s 15th Annual Japan Day

By Kazue Masuyama

Every Spring, Sac State’s Japanese Program and the Japan Club host “Japan Day,” a celebration of Japanese arts and culture in conjunction with the College of Arts and Letters’ Festival of the Arts. In 2021, a four-hour virtual event was held in collaboration with Sac State alumni and our partner universities in Japan (see <https://bit.ly/3RAdbGf>). In 2022, the 15th Annual Japan Day returned to campus on April 24, attracting more than 800 participants throughout the day. Stage performances included traditional dance (kohaku), taiko drum performances by local children, kamishibai and jujutsu demonstrations by Sac State faculty, and other exciting performances by local university and high school students of Japanese language and culture. Visitors also enjoyed hands-on learning experiences at more than twenty cultural learning tables (calligraphy, kendama, tongue twister, board games, drawing, green tea tasting, etc.) as well as informational tables staffed by members of the Matsuyama Sister City Corporation and the American River Conservancy’s Wakamatsu Farm (<https://www.arconservancy.org/wakamatsu/>). Due to the many conflicts in the world, the theme of 2022 Japan Day was “World Peace”. Organizers of the “Paper Crane for World Peace” activity told the story of Sadako and the 1000 cranes and taught visitors how to fold origami cranes. The cranes were donated to a local Ukrainian church. A “Meet & Greet” corner created an opportunity for on-campus students to meet their “virtual” classmates. Many students enjoyed taking photographs together. For more details about the event, please visit our website (<https://sites.google.com/view/jdaysac/2022-j-day>). The website also includes YouTube and Facebook links (the most heavily attended performance was the taiko drumming). Finally, Sac State hosted a simultaneous event, a karaoke contest for K-16 students at the request of the NCJTA. We are grateful to have had many students, teachers, and visitors on campus!





Karaoke: Celebration of Japanese Language and Culture

昨春4月24日（日）に、サクラメント地域の日本語教師によるイベントKaraoke: Celebration of Japanese Language and Culture がカリフォルニア州立大学サクラメント校にて開催されました。日本語を学ぶ高校生24名、大学生7名の計31名が参加し、80年代の演歌からアニメソング、今流行っているJ-Pop の歌まで幅広いジャンルの歌を熱唱してくれました。サンフランシスコ日本国総領事館の専門調査員石井様をはじめとする 4 人の審査員によって選ばれた入賞曲は以下の通り：

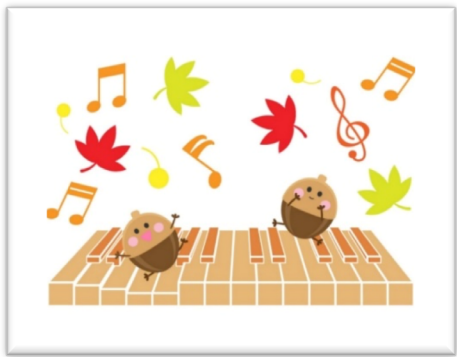
- 優勝 **Joey Perkins** カゼノネ（ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクルOPテーマソング）
- 二位 **Niamh Thomas** いつも何度でも（「千と千尋の神隠し」挿入歌）
- 三位 **Uma Armien** ブーケ（青葉市子）
- 特別賞 **Chenxi Ma & Yifan Shi** 茜さす（Aimer エメ）
- Jenai Flournoy** カタオモイ（Aimer エメ）

サクラメント地域で3年ぶりに開かれたこの対面でのイベント。参加者だけでなく、観客席の家族や友人も私達日本語教師も、会場全体が一つになって、久しぶりに生の交流を心行くまで楽しむことができました。今回このようすばらしいイベントが開催できたのは、『サラダコスモ』の社長中田様の寛大なご寄付のお陰です。

(文責：マケール尚子)



北カリフォルニアのイベント情報



- サクラメントのBuddhist Churchで9月にFood & Cultural Bazaarが行われます。
<https://www.buddhistchurch.org/post/76th-annual-japanese-food-cultural-bazaar-2022>
- デービスで10/2（日）にInternational Festivalが開催されます。
<https://internationalhousedavis.org/program/community-building/international-festival-davis/>
- Millbraeの図書館がある広場で小さな日本文化祭が催されます。食べ物などの出店やステージでのパフォーマンス、お茶、書道、折り紙などのハンズオンもあります。規模は小さいですが、家族で楽しめるお祭りです！

17th Annual Millbrae Japanese Culture Festival
Sunday, October 2, 2022
10:30 AM ~ 4:30 PM
Civic Center Plaza
1 Library Avenue, Millbrae, CA 94030
<https://www.japaneseculturefest-millbrae.org/>

先生の紹介



渥美 有希佳 先生

- お名前を教えてください。
渥美 有希佳（あつみ ゆきか）です。
- 教えている学校名、町を教えてください。
今年度より、iLEAD Onlineというチャーター・スクールで教えることになりました。こちらは、Greater Los Angelesに住むK-12の生徒がオンラインで学べる学校です。また、前年度より、Woodlandのいくつかの小学校のafternoon school program内でも日本語を教えています。
- 日本語教師はいつから？
現在10歳の長女が3歳だった7年前、我が子達の知育と日本語維持のために、自宅で小さな日本語教室を始めました。それが今でも細々と続いています。また、5年ほど前から中高生や大人の生徒さん達にも、private tutorとして日本語を教えてきました。
- ご趣味は？
読書、料理、映画&ドラマ鑑賞、散歩、旅行、スペイン語の勉強などです。夫婦揃ってお酒や美味しいものも大好きなので、レストランの開拓やワイナリー/ブリュワリー巡りなども大好きです。
- 日本の出身地は？
静岡県浜松市です。うなぎや餃子などが有名で、ホンダやスズキなど大企業の創業の地であり、さらには徳川家康ゆかりの地としても知られています。また、ヤマハやカワイ、ローランドの本社が集結する楽器の街でもあります。自分が浜松にいた頃は田舎で何もない場所だと思っていましたが、外から見ると意外に色々あって、なかなか魅力的な所なんだと今更ながら思っています。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。
留学生として最初にアメリカに来たのは2002年です。アリゾナ州の大学を卒業した後、日本に帰って就職しました。そして2010年に結婚し、東京からカリフォルニアに移り住みました。カリフォルニアには12年ほど、アメリカには計17年ほど住んでいます。
- 仕事について、何か一言お願いします。
仕事は楽しくやりがいもありますが、必要以上にしなくてもいいかなと思っています。余暇時間も大切にするために”work smarter, not harder”を常々心がけています。効率よく仕事をし、仕事以外の時間も充実させることで楽しみが増え、さらには先生としての幅もひろがるのではと思っています。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
みなさんとお話できることを楽しみにしています。よろしくお願いします！





飯田 愛美 先生

- お名前を教えてください。
飯田愛美（いいだめぐみ）です。
- 教えている学校名、町を教えてください。ミズーリ州セントルイスにあります、ワシントン大学セントルイスで教えています。
- 日本語教師はいつから？
2013 年からです。
- ご趣味は？
ハイキング、水泳、旅行、サッカー観戦が好きです。
- 日本の出身地は？
茨城県石岡市です。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。
合計で8 年になります。アメリカに最初に来たのは2013 年で1 年間滞在、その後1 年半ほど日本に帰国しました。2016 年からアリゾナでの大学院生活を経て、現在に至ります。
- 仕事について、何か一言お願いします。
日本語の授業を通して、学生が今いる世界や見ている世界が少しでも広がればいいなと心に留めながら教室づくりをしています。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
私はまだまだ未熟者ですので、日々いろいろな先生方から多くのことを学ばせていただいております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



井上 由佳 先生

- お名前を教えてください。
井上 由佳（イノウエ ユカ）と申します。
- 教えている学校名、町を教えてください。サンフランシスコにあります、公立校ローザ・パークス小学校です。
- 日本語教師はいつから？
2008年から、教えております。
- ご趣味は？
ゴルフと食べることです。
- 日本の出身地は？
東京の練馬区です。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。
かれこれ、20年になります。
- 仕事について、何か一言お願いします。
日本では、ずっとIT業界におり、教員という仕事はこの仕事が初めてでした。最初は、戸惑いもありましたが、今では天職？ではないかと思うほど、楽しんでおります。現在は、幼稚園生と5年生のひとクラスを担当しておりますが、幼稚園生からは、毎日たくさんのエネルギーをもらい「日本語大好き」と言ってもらえることを目標にしております。5年生は少々手こずることもありますが、たくさんコミュニケーションを取ることができます。日本の小学校との交流もあり、児童の成長を毎日感じながら楽しく過ごしております。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
毎回、皆様のすばらしい発表を拝聴させて戴き、自分自身も学び続けていきたいと思っております。これからも、ご指導のほど宜しく願いいたします。

私の学校でこんなことが！

'Words in Action'

宮本 百合子
カリフォルニア大学 バークレー校

'Words in Action'という大学のMultilingual Student Performanceで日本語プログラムを代表して出演した二人の学生がギターを弾きながら日本の歌を熱唱しました。坂本九の「上を向いて歩こう」、松任谷由実の「飛行機雲」、Asian Kung Fu Generationの「遥か彼方」の三曲を披露し、会場を沸かせました。



Classroom Mural Project

森川ともかず
ワシントン高校 サンフランシスコ

Working together with local mural artists to promote our classroom cultures!
楽しくなる教室って大切だと思いませんか？
For more information, visit morikawasensei.com.



Cultural Event:
礼法を体験する@スタンフォード大学

斉藤 百恵
スタンフォード大学

コロナ感染拡大の影響で例年あったCultural eventが軒並み中止になっていましたが、22年度の春学期に800年以上の歴史があるという「小笠原流礼法」を体験する機会に恵まれました。スタンフォード大学で例年文化の日に弓道の先生がワークショップを行っていますが、今回その先生の紹介で小笠原流礼法の門下生を講師として迎え、日本語のクラスを取っている学生が日常で使える様々なマナーを習いました。お辞儀の仕方、食事の際の食器の持ち方、贈り物の渡し方など実践しながら、その歴史的背景や所作に込められた意味など学び、貴重な機会となりました。



北加日本語教師会
連絡先



NCJTA Officers

<事務局> : <https://ncjta.org>

NCJTA c/o Junko Ito

Department of East Asian Languages and Cultures

University of California, Davis

One Shields Avenue, Davis, CA 95616

Email: jito@ucdavis.edu

<役員>

会長 :

Junko Ito 伊藤潤子 (University of California, Davis)

Email: jito@ucdavis.edu

副会長 :

Momoe Saito Fu 斉藤百恵 (Stanford University)

Email: msfu@stanford.edu

書記 :

Yoshiko Zimmerman ジーマン美子 (Shasta College)

Email: yzimmerman@shastacollege.edu

会計 :

Makiko Mochizuki 望月真紀子 (Chabot College/Ohlone College)

Email: mmochizuki@chabotcollege.edu

Kazumi Yahata-Pettersson 矢幡ペターソン和美 (San Francisco State University/Ohlone College)

Email: kyahatap13@gmail.com

ニュースレター編集 :

Kayoko Imagawa 今川香代子 (University of California, Berkeley)

Email: kimagawa@berkeley.edu

Yuriko Miyamoto 宮本百合子 (University of California, Berkeley)

Email: ymcaltabiano@berkeley.edu

ウェブ担当 :

Nanako Moriyama 森山なな子 (Bella Vista High School)

Email: nanako.moriyama@sanjuan.edu

Momoe Saito Fu 斉藤百恵 (Stanford University)

Email: msfu@stanford.edu

FLANC 連絡員 :

Masahiko Minami 南雅彦 (San Francisco State University/Kinmon Gakuen)

Email: mminami@sfsu.edu

<各レベル代表>

学園・小中学校代表 :

Yuka Inoue 井上由佳 (Rosa Parks JBBP Elementary School)

E-mail: choyy@sfsud.edu

Masahiko Minami 南雅彦 (San Francisco State University/Kinmon Gakuen)

Email: mminami@sfsu.edu

高校代表 :

Kaoru Slotsve スロツビー薫 (Kelly Walsh High School, WY)

Email: kslotsve@gmail.com

コミュニティーカレッジ・大学代表 :

Kazue Masuyama 増山和恵 (California State University, Sacramento)

Email: masuyama@csus.edu

Noriko Nagata 永田憲子 (University of San Francisco)

Email: nagatan@usfca.edu